



やらまいか

例会日：毎週火曜日 12：30 例会場：豊川商工会議所
 会長：大岩一仁 幹事：夏目雅康 SAA：大島嗣雄 会報委員長：太田 稔
 事務局：豊川市豊川町辺通44 豊川商工会議所会館内 Tel.0533-86-2535 Fax0533-86-8889
 ホームページ <http://toyokawahoi.tank.jp> Email hoirc@sala.or.jp

本年度第9回 通算1080回 平成20年9月2日(火) 晴

ゲスト 米山奨学生 ゲン・ハイ・ヴァンさん
 (社)穂の国青年会議所 大場篤さん、黒田功さん、梶山英昭さん、渡辺徳光さん

出席報告 川渕啓治委員長

会員総数	計算会員数	本日の出席者数	本日の出席率	8/19修正出席率
54名	43+5名	36名	75%	100%

司会進行 大島嗣雄 SAA

★会長の挨拶及び報告 大岩一仁会長



こんにちは。今日の例会も大勢のご出席ありがとうございます。今日は久しぶりに見る顔もありますね。別にイヤミのつもりではないです。職業奉仕にいろいろと頑張ってもらって、毎週ここで、皆さんの元気な顔を見ることが良いことだと思っています。昨日は突然の福田総理の辞任があり、皆さんも驚かれたと思います。もう少し、命を掛けて総理の職務を全うするぞという気持ちがある人が出でたら、日本ももっとよくなるのではないかと思います。

先週は、日本各地でゲリラ豪雨がありました。この地域も木曜日の昼間から夜中に大変な豪雨がありましたが、皆さんのところは大丈夫でしたか。豊橋の南部の方は20軒ぐらいが床上浸水で、避難勧告も出まして、自然の恐ろしさを痛切に感じました。これも地球の温暖化の影響で、皆さんもそれぞれエコ対策をして頂ければと思います。よくテレビで見る光景が、自分の身近でおこると、改めて自然の力のすごさを感じます。被害のあわれた地域の皆さんには、心からお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

★幹事報告 夏目雅康幹事

例会臨時変更のお知らせ：豊橋RC
 次回例会について

★委員会報告

穂の国青年会議所のPR
 9月15日開催のJCデーのPR
 吉本新喜劇と爆笑バラエティショー開催
 環境保全委員会(山田委員長)
 CO2ポイントカードについて
 雑誌委員会(野中委員長)
 ロータリーの友8月9月号の紹介

★米山奨学生の卓話

「ベトナム経済事情と日系企業のベトナム進出」

ゲン・ハイ・ヴァンさん

皆さん、こんにちは。米山奨学生のゲン・ハイ・ヴァンと申します。今日は貴重な時間を頂いて、皆さんの前で卓話ができることを大変光栄に思っております。僕の専



門は工学部で無機材料科学の勉強をしています。今日はベトナムの経済事情と日系企業のベトナム進出についてお話をさせていただきます。

ベトナム歴史と経済事情

- 1975年 ベトナム戦争終結、北と南ベトナム統一
 - 1975～1986年 鎖国時代(ソ連はベトナムにとって最大援助供与国)
 - 1978年 カンボジア侵攻、国際的孤立
 - 1979年 越中国境戦争、中国と国交断絶
 - 1986年 ドイモイ(刷新)政策を採用し、市場経済に移行
 - 1991年 ソ連崩壊、全方位外交の転換、越中国交正常化
 - 1992年 日本の政府開発援助(ODA)が再開
 - 1994年 アメリカによるベトナムへの経済封鎖解除
 - 1995年 米越両国は国交を樹立
 - 1995年 ベトナムはASEANに正式加盟
 - 1997～1999年 タイ発アジア通貨危機 経済成長率は4.8%までに落ち込んだ
 - 2000年 経済成長率は6.8%まで回復し、世界的な最貧困の域から抜け出した
 - 2001年 9月11日同時多発テロ 経済成長が伸び悩んだ(6.8%)
 - 2002年～2007年 8%前後の高い経済成長率を達成した
- 経済成長はほとんどない
- ドイモイ政策実施後、一定の効果をもたらした(経済成長率が8～9%)

ベトナム経済の現状(1)

ベトナムの経済が、インフレ率の急騰と経常赤字の急拡大に苦しんでいる
インフレ率

- 2004年以來7%を越えるインフレが続いていた。しかし、ここでこの数年間
 - 伝染病や自然災害による食料品価格の高騰
 - 住宅・オフィス需要増による不動産価格・資材の上昇と建材の値上がり
 - 国際的な石油・原材料価格の高騰
- 2007年後半から物価が急騰、2007年には平均8.3%だった消費者物価指数(CPI)が2008年5月には25.2%まで上昇し、特に、食糧が前年同月比で67.8%も上昇
- 経常赤字
 - 2007年以來 経常収支も急激に悪化している
 - 2005年に5.0億ドル、2006年に1.6億ドルに過ぎなかった経常赤字が、2007年には69.9億ドルになり、GDP比で9.9%の巨額に達する
 - 2008年 第一四半期(1～3月)だけで73.7億ドルの貿易赤字が計上

株式市場

- ベトナムの代表的な株式指標VNINDEXは、2007年3月に過去最高の1170ポイントをつけたが、2007年末あたりから下落を続け、2008年6月20日には366ポイントまで下げた
- ベトナム内外の経済環境が悪化する中で投資家がリスク回避の動きに出ていると見られた
- ベトナム通貨ドン市場は市場この一年間30%も下落する(米ドルに対する相場)

私は、2002年にベトナムを離れました。当時の私の朝ごはん、ベトナムのラーメン1杯30円でした。この夏にベトナムに帰りました。ラーメン1杯は100円になっていました。数年の間に物価が急騰しています。

ベトナム経済の現状(2)

政府はインフレ抑制を最優先課題として

- 金融引き締め、為替相場管理、歳出カットなどの措置
- 2008年の経済成長目標を8.5～9%から7%に下方修正し
- 09年末から10年初めをめどにインフレを1ケタ台へと抑え込む
- 厳しい経済状況の中、ベトナムの通貨危機発生説も浮上。しかし、1997年にタイが経験したような短期流動性不足にベトナムが陥る危険性は低い
- ①国際収支の黒字 海外からの旺盛な直接投資・ポートフォリオ投資や開発援助などのおかげで資本収支が大幅な黒字
- ②少ない対外債務 2008年6月ベトナムの対外債務残高は昨年末時点の対GDP比で29.0%、特に短期債務の比率は13.3%と低い。これは、アジア通貨危機前夜のタイの対外債務が対GDP比59.7%、短期債務も同26.3%であったことと比べれば、なお低い水準
- ③十分な外貨準備 ベトナムの外貨準備は6月時点で約210億米ドル。外貨準備については、一般的に輸入額の3か月分が安全水準とされていることを考えれば、ベトナムの輸入額は一月あたり概ね60億～70億米ドルで、210億米ドルの外貨準備は差し当たっては十分な水準
- ④地域協力枠組みの存在 ベトナムはASEANスワップ協定には参加しており、緊急時には最大20億ドルまで短期資本の融通を受けることができる

日系企業にとってベトナムの魅力

- 2004年12月に日越投資協定が発効
投資認可段階での内国民待遇、最恵国待遇などが含まれていた。協定締結の背景には、日本企業の対越投資が飛躍的に拡大
- 「今、熱い」といわれているベトナム進出の背景
 - 第一に「チャイナプラス1」といわれるように、中国への投資が集中する中、リスク分散先としての周辺国を選択する動き
 - 第二に労働力が安く勤勉で優秀な人材の確保が容易である上に、政情が安定しており、治安が良いことも選択の条件
 - 第三に初の海外進出先として過去にトラブルが多いといわれた中国を避け、ベトナムを選択する動きが見られる
- 人口8千万人という市場
経済規模こそ決して大きくはないが、アジア主要諸国の中で中国に次ぐ経済成長率を誇るベトナムは日本企業にとって「魅力のある投資先」

日系企業のベトナム進出状況

ベトナム三大都市基礎データ(2005年)

	ホーチミン	ハノイ	ダナン
人口	600万人	300万人	80万人
進出日本企業数	370社	246社	19社
日本人数	2200人	2100人	80人
1人当りGDP	1700USD	1150USD	950USD

(出典)ベトナム統計局DATA

ベトナムの国

- 正式名称 ベトナム社会主義共和国
 - 面積 329,247? (日本の0.88倍)
 - 人口 8,090万人(2003年現在)
 - 公用語 ベトナム語
 - 通貨 ドン(100円≒1万5000ドン 2005年6月現在)
 - 民族 キン族が約90%を占め、残りの10%が53の少数民族で構成
 - 宗教 仏教徒が大多数、次いでキリスト教徒
 - 時差 日本時間よりマイナス2時間、日本の正午はベトナムでは午前10時
 - 日本との距離 直線距離で約3,600km。ハノイまで直行便で約6時間
 - 気候 温帯から熱帯までに属する。南北に長い地理のため北部と南部では気候の差が大きい
 - 国旗の由来 「金星紅旗」と呼ばれる北ベトナム国旗だったもの。赤は革命と戦いで流された血、黄は国民の団結を象徴
 - GDP(2003年) 605兆5,860億ドン(390億4,588万ドル)
 - 一人当たりGDP 534,753ドル
 - 外資直接投資額 22,221億ドル
- 出所: ジェトロ統計(2005年10月)

ちなみに今日はベトナム独立記念日(国慶節)

ベトナムを訪問される場合は、春の2月か3月が雨も降らなく、暑くもないので日本人には良いと思います。最近は、お盆に訪問する人が多いようです。ご静聴ありがとうございました。

※ニコボックスは次回掲載します。

会報担当者：太田稔会員、樺山修一会員

このウィークリーは再生紙を使用しています。